

お客さま視点を貫き、お客さまにさらに身近で便利なATMサービス、金融サービスを提供します。

ごあいさつ

いつもセブン銀行をご利用いただき誠にありがとうございます。
ございます。

2001年にATMサービス事業を主体とする銀行として誕生したセブン銀行は、開業以来、常にお客さまの視点に立ち「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」ご利用いただけるATMサービス、金融サービスの提供に努めてまいりました。

おかげさまで、提携金融機関数は570社以上、ATM設置台数は全国に16,000台以上となり、1日平均約180万人のお客さまにご利用いただいています。

また、セブン銀行はこれらの事業の継続・発展のためには、すべてのステークホルダーの皆さまに対してCSR(企業の社会的責任)を果たしていくことが重要と考え、コーポレート・ガバナンスやコンプライアンス、リスク管理の強化はもちろん、環境負荷低減や地域社会貢献、そして東日本大震災復興支援などに積極的に取り組んでおります。

セブン銀行は、2011年12月に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。これもひとえに、お客さま、株主さま、関係者の皆さまの温かいご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後も、お客さまのニーズに的確に応え、経営理念に則り、お客さまにさらに身近で便利なATMサービス、金融サービスを提供するよう努めてまいります。これからも、セブン銀行にご期待ください。

事業実績と今後の取り組み

第3世代ATMへの入替を本格化していくとともに海外送金サービスやローンサービスの推進に注力します。

セブン銀行は、2011年度もATMサービスを中心とした各種サービスにおいて、お客さまのニーズに応える各種施策を積極的に進めてまいりました。その結果、2011年度中間期の経営成績は、経常収益が443億3,800万円、経常利益が157億1,000万円、中間純利益が92億7,000万円となりました。

ATMサービスでは、より多くのお客さまの利便性向上に向けて、ATM設置の推進、提携金融機関の拡大、第3世



代表取締役会長 安斎 隆 代表取締役社長 二子石 謙輔

代ATMへの入替に取り組みました。

ATM設置では、セブン-イレブンの新規出店に合わせて台数を増やしたほか、大和証券の本支店や、お客さまのご利用ニーズの高い商業施設、駅、高速道路サービスエリアなどへ展開した結果、2011年9月末の合計設置台数は16,005台となりました。提携金融機関数は、新たに3つの銀行、3つの信用組合が加わり、合計で572社となりました。利便性・安全性・環境性などを追求した第3世代ATMへの入替は、西東京エリア・山梨県等が完了し、導入台数は1,000台を超えました。

口座サービスについては、日本で働く外国人の方々などのニーズに応える海外送金サービスや、個人向けローンサービスが順調に成長しています。

今後は、ATMサービスをより一層充実させるため、2011年度末までにATM設置台数を約16,400台に、そのうち第3世代ATM台数を約2,900台とする計画です。また、海外送金サービスの営業活動を全国で展開するなど、新サービスの推進に引き続き注力していきます。

セブン銀行は、これからも、お客さまのニーズに合致し、私たちの強みを最大限に活かせる新サービスや新事業を開拓してまいります。

2012年1月